

## 630調査

### 1.はじめに 調査票の入力・提出について

### 病院・診療所用

1

### 本調査の趣旨

- この調査(630調査)は、精神保健医療福祉の実態を把握し、精神保健医療福祉施策推進のための基礎資料を得ることを目的として、毎年6月30日付けで実施しているものです。
- 今年度からは、平成30年度から実施される医療計画、障害福祉計画、介護保険事業(支援)計画にも活用できるよう、調査の流れを改め、調査内容を見直しました。
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築を進めるにあたって、重要な調査になりますので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 【調査内容・入力方法の問い合わせ先】

(630調査事務局)

国立精神・神経医療研究センター(National Center of Neurology and Psychiatry: NCNP)精神保健研究所精神保健計画研究部

E-mail: [630@ncnp.go.jp](mailto:630@ncnp.go.jp) (原則2営業日以内に回答します)

※回答内容の確認のため、事務局からお問い合わせをさせていただく場合があります。

2

# 調査票入力の際のお願い(病院・診療所用)

- 全部で7つの調査票があります。(必ず病院・診療所1から順番に入力をしてください)
- 6ページで調査全体の流れを図式しております。
- 6ページの赤枠内の調査をこの度お願いすることになりますので、病院・診療所での入力の際には以下の2点についてお願い致します。

## ①病院・診療所用調査票の入力

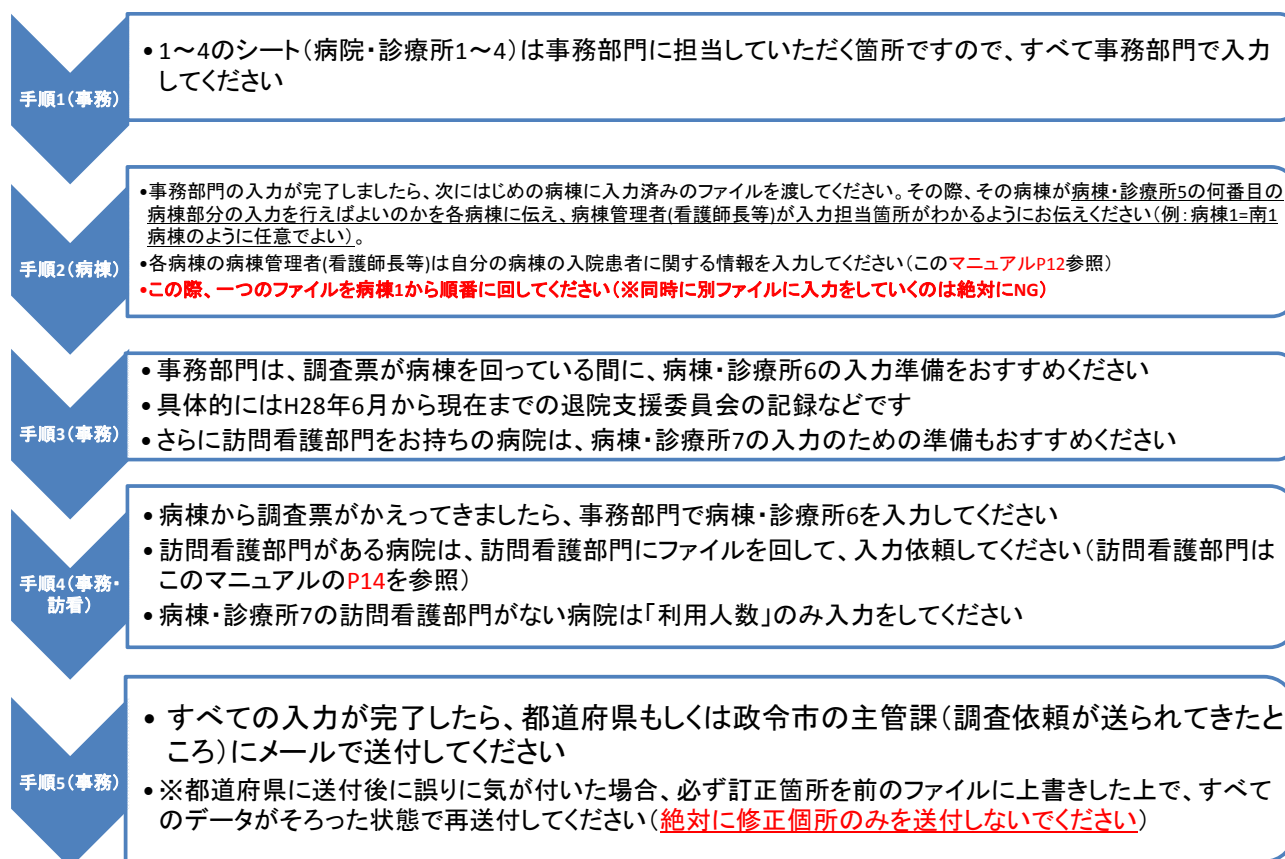
※3ページ目に病院の入力手順・5ページ目に診療所の入力手順を記載してあります

## ②都道府県もしくは政令市の主管課(調査依頼が送られてきたところ)に回答済みのExcelファイルを送付(必ずZIPファイルで送付してください)

- \* 調査票のExcelファイルを保存する際には「xls形式」でも「xlsx形式」でも問題はありません。
  - \* 都道府県もしくは政令市の主管課に回答済みのExcelファイルを送付する際には、**ファイル名は所属機関名**に変更してください。
  - \* 都道府県・政令市の主管課は、個別の調査票を閲覧できます。
- 以下、8ページ目より入力時の補足説明をしております。
  - 調査票の7枚目の調査票は「訪問看護部門」についての調査になります。
  - 入力の際には、この「調査票の入力・提出」に加えて、「用語の説明」も併せてご覧ください
  - 7ページ目にExcel調査票の基本操作を記載しております。

3

## 病院の調査票入力手順



4

病院の事務部門の方は、  
このスライドを病棟管理者(看護師長等)にお渡しください

## 病棟管理者(看護師長等)の方へ

- ① 各病棟に担当していただく入力箇所は調査票(病院・診療所)の「**病院・診療所5**」のみです
- ② 入力に際しては、「1.はじめに 調査票の入力・提出について」のP.12と「調査票で使われている用語の説明」の**病院・診療所5**のシートを参考にしてください
- ③ 入力をはじめる前に、事務部門の方に**自分の担当する病棟番号**が何番であるかを確認してください
- ④ 入力が終わりましたら、**次の病棟**にお回しください(最後の病棟の方は事務部門に戻す)

5

## 診療所の調査票入力手順

### 手順1

- 診療所は調査票1・2・3・4・7のみ入力をしてください
- 調査票7の訪問看護機能がない診療所は「利用人数」と「算定の有無」のみ入力をしてください
- 有床の診療所であっても、調査票5の入力の必要はありません

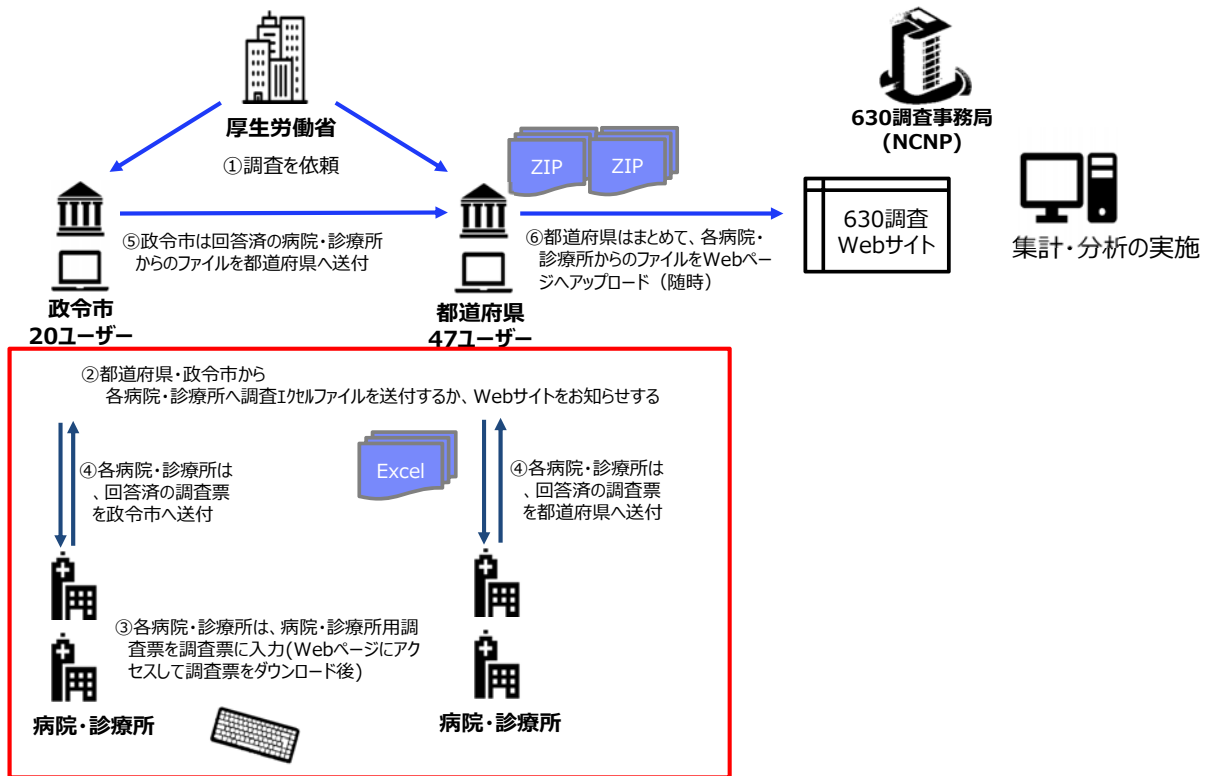
### 手順2

- すべての入力が完了したら、都道府県もしくは政令指定都市(調査依頼が送られてきたところ)にメールで送付してください

6

# 新630調査 - 調査の全体図

## 病院・診療所



7

## Excel調査票の操作について

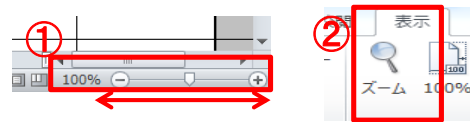
- 項目は「直接入力いただく項目(青)」と「プルダウンから選択する項目(水色)」の2種類ありますので、操作の際の参考にしてください

※イメージ図は、実際の調査票の内容とは異なります。

療養入院の指定病床数	届出入院料	本
	精神科急性期治療病棟入院料	
	精神科慢性期治療病棟入院料	
	精神科回復期治療病棟入院料	
	精神科急性期治療病棟入院料	
	精神科慢性期治療病棟入院料	
	精神科回復期治療病棟入院料	
	13対1入院基本料	
	10対1入院基本料	
	10対1入院基本料	

- 調査票の文字が小さくて見えにくい場合には、①Excel画面右下の赤枠内のつまみを動かすか、②画面上方の「表示」タブの「ズーム」で画面の拡大縮小が可能です

※Excelのバージョンにより多少操作が異なる場合があります。



- プルダウンから選択しなくても、同じ選択肢の項目であれば、「コピー・貼り付け」を行っても入力することが可能です

10対1入院基本料	→ コピー可
10対1入院基本料	
13対1入院基本料	

- 項目について、不明な点がありましたら、「2. 調査票に使われている用語の説明」を参照いただくか、調査票の項目をクリック等すると質問についての詳細な説明が表示されます。

※イメージ図は、実際の調査票の内容とは異なります。

番号	届出入院料	公共電話の数	入院
	届出入院料 (円)		
	精神科		

- 病院・診療所1の「厚生局届出の医療機関番号」に数字を入力しても都道府県名が自動で出ない場合は、Excelファイルの画面左上にある「ファイル」から「オプション」→「数式」→「ブックの計算」を自動的にしてください。

8

## 病院・診療所1(施設の概要)

①医療機関番号を入力(入力すると自動的に都道府県名が表示されます)

※その際、医療機関番号の最初の桁が0で始まる医療機関は、先頭に「J」(アポストロフィ)をつけて、必ず10ケタになるようにしてください  
医療機関番号がない機関については999999999と入力し、都道府県も入力してください

施設の概要について		
当該病院情報		
厚生局届出の医療機関番号	都道府県	市区町村
医療機関コードを入力してください		市区町村を入力してください
項目	回答	
精神病床の病棟数		
応急入院の指定病院の有無		
同一法人・関連法人等での設置施設		
医療機関(訪問看護ステーションを含む)・介護保険事業所:10ケタコード		障害福祉事業所:10ケタコード

②医療機関番号を入力すると都道府県番号が自動表示されますので、グレーになっています。(自分で入力しなくてよい)

③市区町村名は手入力してください

④精神科病棟数を入力(病院個票1に表示される病棟数とリンクしていますので、正確に入力してください)  
※1病棟に2つ以上の入院料区分がまたがっている場合は異なる病棟として入力してください  
※**休床中**の病棟も含めてください

⑤応急入院の指定病院の有無をリストで選択してください

⑥同一法人・関連法人で関連施設がある場合には、各施設の10ケタのコードを入力してください

9

## 病院・診療所2(施設の概要)

①各項目の有無をリストから選択してください

施設の概要について			入力不可
当該病院情報			
医療機関コード	都道府県	市区町村	
0415110048	宮城県	仙台市青葉区	
項目	届出の有無		
認知行動療法の届出	有		
重度アルコール依存症入院医療管理加算の届出	有		
依存症集団療法の届出	無		
摂食障害入院医療管理加算の届出	有		
精神科救急・合併症入院料の届出	有		

10

# 病院・診療所3 (病院機能等)

①各病院機能について、該当すれば「有」、該当しなければ「無」

②該当「有」ならば人数を入力、「無」の場合はグレーになります

当該病院情報		
厚生局届出の医療機関番号	都道府県	市区町村
0	-	0
病院機能等	有無	職員数
診療報酬で算定される精神科専門療法「認知療法・認知行動療法」の施設基準に定められている研修を受けた医師		
診療報酬で算定される精神科専門療法「認知療法・認知行動療法」の施設基準に定められている研修を受けた看護師		
平成28年度診療報酬改定で新設された「依存症集団療法」の施設基準に定められている研修を受けた医師		
救急患者精神科継続支援料の施設基準に定められた研修を受けた職員（医師、常勤看護師、常勤作業療法士、常勤精神保健福祉士、常勤臨床心理技術者、常勤社会福祉士）		

# 病院・診療所4 (施設の概要)

グレーで塗られているセルは入力しない

③ここで入力した患者数の分だけ、「病院5」のシートに「病棟番号」、「通し番号」、「病棟入院料」が自動的に表示されますので、正確に入力をお願い致します。

①「病院・診療所1」で入力した病棟数の数だけ表示されているかを確認

②各病棟の届出入院料と開放区分をリストから選択してください

当該病院情報			届出入院料	開放区分	入院患者数	保護室あり または可能個室数	うち、トイレがついている個室数	うち、カメラがついている個室数
合計					110	0	0	0
病棟1			精神科急性期治療病棟入院料	終日閉鎖	20			
病棟2			精神科慢性期治療病棟入院料	終日閉鎖	20			
病棟3			精神科慢性期治療病棟入院料	夜間開放	10			
病棟4			13対1入院基本科	終日閉鎖	20			
病棟5			13対1入院基本科	土曜以外	20			
病棟6			13対1入院基本科	夜間開放	30			
病棟7								
病棟8								

⑤これより右のセルも同様のルールで入力

⑥これより右のセルは、今一度定義マニュアルの参照

④濃い青の項目は直接数字を入力



# 病院・診療所5(6月30日0時時点の在院患者)

6月30日時点で在院している主診断が精神疾患のすべての入院患者を1人1人入力してください  
もしくは、電子カルテから直接出力してください

②以下「年齢」～「拘束の有無」はリストから適切な選択肢を選択(入院年月は直接入力)

③患者本人の診療録上の住所と病院住所が同様であれば「同一」、違う場合は「異なる」を選択

①「病院・診療所3」のシートで入力した「入院患者数」の分だけ自動的に病棟番号、患者シリアル番号(通し番号)、病棟入院料が表示されていることを確認し、ご自身の担当の病棟に入院している患者情報を入力してください

ただし、病棟8以降は自動表示されませんので、大変お手数をお掛けしますが、手入力にて病棟番号、患者シリアル番号、病棟入院料も入力してください。また、患者IDについては病棟ごとに1から順番に振っている数字ですので、病棟が切り替わったら1番から番号を振りなおしてください

病棟	患者シリアル番号	病棟入院料	年齢	性別	主診断	入院年月	入院形態	隔離指示有無	拘束指示有無	所在地と 住所地	住所地
										都道府県	市区町村
病棟1	1	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	2	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	3	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	4	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	5	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	6	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	7	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	8	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	9	精神科急性期治療病棟入院料									
病棟1	10	精神科急性期治療病棟1入院料									

④「所在地と住所地」で同一を選んだ場合は自動的に都道府県名と市区町村名が表示されます。異なる場合のみ、手動で入力をお願い致します。※正式な名称でないとエラー表示が出ますのでご注意ください。具体例は「2.調査票で使われている用語の説明」を参照

# 病院・診療所6(平成28年6月に医療保護入院した患者)

ここでは昨年6月に入院したすべての医療保護入院患者について入力してください

②以下「年代」～「退院有無」はリストから適切な選択肢を選択

③退院の有無を選択  
※ここで「有」を選択すると「2つ右のセルはグレーになります」

①患者シリアル番号(通し番号)を入力  
※「病院・診療所5」で入力した患者が「病院・診療所6」にも含まれる場合、シリアル番号は一致していなくてよい  
※延べ人数でよいので、複数回入院患者でも通し番号を入力でよい

④退院年月を直接入力

平成28年6月に医療保護入院した患者  
※事務・看護簿裏記入  
当該病院情報

患者シリアル番号	年代	性別	主診断	同意者	当初の入院計画での予測入院月数	退院支援委員会の実施回数	患者本人の退院支援委員会への参加機会	家族参加	地域援助事業者参加	退院有無	退院年月 (YYYY/MM)	入院途中の場合は、 院形態
										都道府県	市区町村	
0	-											

⑤「退院の有無」で「無」を選んだ場合は、現在の状態について適切なものを選択

# 病院・診療所7(病院・診療所訪問看護部門調査)

## 訪問看護部門について伺います

訪問看護部門をお持ちでない医療機関は、「すべての訪問看護利用者数」に「0人」を入力し、以下は空欄でかまいません

訪問看護ステーションでしたら回答不要

②すべての利用者の人数と、保険種別による内訳人数を入力  
(医療保険と介護保険利用者数の合計が総利用者数と一致します)

③算定の有無を選択し、算定していれば右に実施人数を入力

「精神科訪問看護・指導料」を算定していない場合、以下は空欄でかまいません

④主傷病名が精神疾患の利用者について、訪問頻度別に人数を入力

「主傷病名が認知症を除く精神疾患の利用者」とは、訪問看護指示書の「主たる傷病名」に精神疾患の診断、あるいは何らかの精神症状が記載されている者として

⑤各項目について算定・指定の有無を選択

⑥職員数を入力  
非常勤職員は、常勤勤務時間に換算した合計を記入してください。例)週2.5日の非常勤職員が2人いる場合は、0.5人+0.5人で「1人」と記入。該当する職員がない場合には、「0」を入力してください

①医療機関番号が表示されているか確認(表示されてなければ「病院1のシートに入力」)

厚生労働省の医療機関番号	都道府県	市区町村				
0	-	0				
すべての訪問看護利用者数 (精神疾患、身体疾患、介護保険すべてを含む)						
総利用者数(6月中の真人数)	うち、医療保険での利用者数	うち、介護保険での利用者数				
精神科訪問看護・指導料の算定			算定の有無	算定ありの場合の6月中の真人数		
精神科訪問看護・指導料の算定			算定している			
「精神科訪問看護・指導料」の算定がない場合、以下は空欄でかまいません						
保険種別を問わず、認知症を除く主傷病名が精神疾患の利用者について、訪問頻度別の人数を記入してください						
主傷病名が認知症を除く精神疾患の利用者の訪問看護の頻度	月1回未満	月1~3回	週1回	週2回	週3~5回	週6回以上
頻度ごとの人数(6月中の真人数)						
※「主傷病名が認知症を除く精神疾患の利用者」とは、訪問看護指示書の「主たる傷病名」に精神疾患の診断、あるいは何らかの精神症状が記載されている者とする。						
加算算定の有無および指定			算定・指定の有無			
長時間精神科訪問看護・指導加算						
深夜訪問看護加算						
精神科緊急訪問看護加算						
夜間・早朝訪問看護加算						
認知症訪問看護加算						
精神科退院前訪問指導料						
精神科重症患者早期集中支援管理料						
指定自立支援医療機関の指定						
訪問看護に関わっている職員数(非常勤は常勤換算数を記入)						
	看護師	精神保健福祉士	作業療法士	その他		
常勤						
非常勤(常勤換算)						
※非常勤職員数は、常勤に換算した数の合計を記入してください。例)週2.5日の非常勤職員が2人いる場合は「1人」と記入。						